

2026 年 1 0 月 4 日 聖霊降臨節 第 19 主日礼拝次第
世界聖餐日・主日礼拝

前 奏 (黙 想)

招きの言葉 出エジプト記32章 11～12 節(旧約 147 節)

讃 美 歌 375(賜物と歌を)

主の祈り <A>(讃美歌93-5)

詩 編 交 読 詩106編 6～23 節(交読詩編 121 節)

聖 書 ヘブライ人への手紙6章 4～12 節(新約 406 節)

祈 禱

讃 美 歌 442(はかりも知れない)

説 教 「最後まで希望を」 田中雅弘

讃 美 歌 81(主の食卓を囲み)1～2 節

聖 餐 (

讃 美 歌 81(主の食卓を囲み) 3 節

信 仰 告 白 使徒信条<A>(讃美歌93-4)

献 金

讃 美 歌 88(こころに愛を)

派 遣 祝 福

後 奏 (黙 想)

報 告

※讃美歌は原則として全節を歌います。

主の祈り A(讃美歌21 93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。 アーメン。

聖書 ヘブライ人への手紙6章 4～12 節

4 一度光に照らされ、天からの賜物を味わい、聖霊にあずかるようになり、
5 神のすばらしい言葉と来るべき世の力とを体験しながら、6 その後に墮
落した者の場合には、再び悔い改めに立ち帰らせることはできません。神
の子を自分の手で改めて十字架につけ、侮辱する者だからです。7 土地
は、度々その上に降る雨を吸い込んで、耕す人々に役立つ農作物をもた
らすなら、神の祝福を受けます。8 しかし、茨やあざみを生えさせると、役
に立たなくなり、やがて呪われ、ついには焼かれてしまいます。
9 しかし、愛する人たち、こんなふうに話してはいても、わたしたちはあな
たがたについて、もっと良いこと、救いにかかわることがあると確信してい
ます。10 神は不義な方ではないので、あなたがたの働きや、あなたがた
が聖なる者たちに以前も今も仕えることによって、神の名のために示した
あの愛をお忘れになるようなことはありません。11 わたしたちは、あな
たがたのおのおのが最後まで希望を持ち続けるために、同じ熱心さを示して
もらいたと思います。12 あなたがたが怠け者とならず、信仰と忍耐とに
よって、約束されたものを受け継ぐ人たちを見倣う者となってほしいので
す。

讃美歌81番

- 1 主の食卓を囲み、
いのちのパンをいただき、
救いのさかずきを飲み、
主にあってわれらはひとつ。
マラナ・タ、マラナ・タ、
主のみ国がきますように。
- 2 主の十字架をおもい、
主の復活をたたえ、
主のみ国を待ち望み、
主にあってわれらは生きる。
- 3 主の呼びかけにこたえ、
主のみことばに従い、
愛のいぶきに満たされ、
主にあってわれらは歩む。

讃美歌 375 番

- 1 賜物と歌を 主の前にささげ、
よろこびのまつり 共に祝おうよ。
復活の主が分けられた
パンを今、食べよう。
- 2 主のもとに集う わたしたちひとつ。
食卓に招く 主においてひとつ。
復活の主注がれた
さかずき味わおう。
- 3 うたがいの世にも 主は共にいます。
さかずきとパンを 分かちあう民に、
主イエスは、息ふきかけて
世につかわされる。

讃美歌442番

- 1 はかりも知れない 神の恵みよ、
私の罪も ゆるされるのか。
- 2 今日まで長く 招きを拒み、
み顔を避けて 歩み続けた。
- 3 十字架の上で 敵をゆるした
主イエスのみ名を 汚しつづけた。
- 4 手の傷しめし み腕をひろげ、
迷う私に 主は呼びかける。
- 5 深い恵みに こころも溶けて、
悔いて涙し み腕にすがる。

讃美歌88番

心に愛を 豊かにみだし
日ごとのわざに つかわしたまえ